

■妊婦健康診査事業

【衛生費】(拡充) 3,392 万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

安心して健やかな出産を迎えるためには、妊婦健康診査を定期的に受診し、胎児の成長や妊婦の体調を確認するとともに、病気などを早期に発見することが必要です。

妊婦健康診査をより多く受診していただくために、基本健診 14 回のほか、超音波や免疫検査など 14 種類の検査項目ごとの追加健診を公費で負担します。

平成 23 年 4 月から「クラミジア」を検査項目に追加しています。



クラミジア

クラミジア・トラコマティスという病原体の感染で起こる感染症です。出産時に産道で感染する可能性があり、赤ちゃんが感染すると結膜炎や肺炎などを起こす恐れがあります。

■総合検診事業

【衛生費】(継続) 1 億 1,187 万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

公民館などの会場を巡回し、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」と各種がん検診などが一度に受診できる総合検診を実施します。また、平成 21 年度からはじまった「女性特有のがん検診」(子宮頸がん・乳がん)については、検診手帳やクーポン券を配付して受診を勧奨します。なお、子宮頸がんクーポン券配付対象者には、総合検診会場とは別に医療機関でも検診ができる体制づくりを進めます。

生活習慣病の予防および疾病の早期発見・早期治療のため、まず「検診を受けること」から健康への意識を市民自ら高められるように努めます。



総合検診

子宮頸がんの早期発見、早期治療

■子宮頸がん個別検診事業

【衛生費】(新規) 108 万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

節目年齢のかたが、子宮頸がん検診を京都府内どこの医療機関でも受診していただける、個別検診を実施します。

(節目年齢：20 歳、25 歳、30 歳、35 歳、40 歳)



■子宮頸がん等予防接種事業

【衛生費】(継続) 9,616 万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

子宮頸がんおよび乳幼児の髄膜炎の予防を図るため、子宮頸がん予防(HPV)ワクチン、ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種を希望される場合は、無料で受けていただけます。予防接種の実施期間と対象者などは下記のとおりで、対象者には予診票を個別に通知します。



- 実施期間
平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
- 対象者
 - ・子宮頸がん予防(HPV)ワクチン
平成 6 年 4 月 2 日から平成 11 年 4 月 1 日
生まれの女子
 - ・ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン
生後 2 か月から 5 歳未満までの乳幼児
 - ・小児用肺炎球菌ワクチン
生後 2 か月から 5 歳未満までの乳幼児

2 医療保険制度の一層の充実

申請はお早めに

■子ども医療事業

【民生費】(継続) 1 億 2,130 万円
(健康長寿福祉部 保険事業課)

お子さんの健やかな成長を願い、乳幼児、小学生、中学生が医療機関を受診された場合、保護者が支払われた自己負担金の一部を助成します。この制度により、自己負担が 1 医療機関あたり 1 か月 200 円となります。



子ども医療費を助成します

3 患者本位の医療体制の充実

地域医療の充実をめざして

■市立病院事業会計繰出金

【衛生費】(継続) 8 億 2,404 万円
(医療部 医療政策課)

地域において必要な医療を提供するため、市立病院を設置して、健康長寿のまちづくりを推進しています。市立病院では、市内の病院や診療所との連携・協力のもと、救急医療をはじめ産科医療、小児科医療、人工透析医療、リハビリテーション医療、在宅医療などを担っており、こうした医療に必要な経費の一部を負担するため、国が定める基準により、一般会計から病院事業へ繰り出しを行っています。

市立病院においては、平成 21 年 3 月に策定した「京丹后市立病院改革プラン」も、プラン最終年となり、地域に必要な医療提供体制の充実を図りつつ、病院事業の経営健全化に努めます。

- 市立弥栄病院 4 億 3,150 万円
- 市立久美浜病院 3 億 9,254 万円



新型インフルエンザ訓練(久美浜病院)

■医療確保奨学金等貸付事業

【衛生費】(継続) 1,500 万円
(医療部 医療政策課)

市の医療の充実に必要な医師の養成と就業促進を図るため、市立病院、国民健康保険直営診療所、そのほか市が定める市内医療機関で勤務する意思を有する医師



市立病院で研修を受ける府立医大の医学生と看護学生のみなさん

(専門研修医、臨床研修医、大学院生)や医師をめざす大学生へ修学などに要する資金を貸与します。

貸与を受けた年数と同じ全期間を市立病院などの地域医療機関で勤務した場合は、奨学金の返還を免除します。

【貸与金額】

- 基本額 月額 20 万円以内
- 特定診療科加算 月額 5 万円(小児科、産婦人科)

4 支えあい、助けあいの地域福祉の推進

市民生活を支え守ります

■くらしの資金貸付事業

【民生費】(継続) 600 万円
(健康長寿福祉部 生活福祉課)

一時的に生活の不安定な低所得世帯の生活安定および自立更迭を図っていくことを目的に、くらしに必要な資金の貸し付けを行います。(貸付限度額 20 万円)



■地域福祉計画策定事業

【民生費】(新規) 305 万円
(健康長寿福祉部 生活福祉課)

平成 19 年 3 月に策定した地域福祉計画が、平成 23 年度で終了するため、現在の計画の内容、推進・進捗状況についての的確な評価を行うとともに、新たなニーズ調査などにより市民の意見を取り入れながら、平成 24 年度からの計画を策定します。



福祉関係機関との連携強化

■京丹后市社会福祉大会開催事業

【民生費】(新規) 28 万円
(健康長寿福祉部 生活福祉課)

民生児童委員、ボランティア、社会福祉協議会、社会福祉施設関係者および行政などの福祉関係者が一堂に会し、それぞれの役割を認識し連携を深めるために、社会福祉大会を開催します。社会福祉大会では、講演会や表彰授与式を行う予定です。

- 開催日：平成 23 年 7 月 30 日(土)
- 開催場所：峰山総合福祉センター
コミュニティーホール



平成 20 年 11 月に開催した第 1 回社会福祉大会の様子